金融犯罪者はなりすましが得意だから

従来のパスワード対策では危険です!!

フィッシングに耐性のある多要素認証が効く!

パスワードを入力する必要がない、
安全性の高い仕組みでなりすましを防ぐ!

パスキーによる認証

パスワードの代わりに生体認証(指紋認証や顔認証)、PINコードなどを使ってログインする、より安全で簡単な次世代認証方式です。パスワードを覚える手間もなくセキュリティと利便性を両立できます。

PKI(公開鍵基盤)による認証

公開鍵と秘密鍵のキーペアからなる技術で、信頼できる第三者(認証局)を通じて、本人であることを電子的に証明する仕組みです。マイナンバーカードを認証に利用することもできます。

メールやSMSに届くワンタイムパスワードを利用した多要素認証は、リアルタイムフィッシングに脆弱なほか、中間者攻撃、マルウェアによる窃取等により突破される場合があります。

リアルタイムフィッシングとは…金融犯罪者が利用者から入力された認証情報を即座に盗み取り、リアルタイムに正規サイトへ不正ログインする手口

つまり!

もしもフィッシングサイトに誘導されても、パスキー・PKI認証があなたを守る!

大切な資産は、奪わせない。

金融庁 Financial Services Agency　警察庁 National Police Agency

一般社団法人 全国銀行協会　一般社団法人 全国信用金庫協会　一般社団法人 全国信用組合中央協会　一般社団法人 全国労働金庫協会　日本証券業協会 Japan Securities Dealers Association